

東京医科大学病院
後期臨床研修プログラム

総合感染症診療コース
(3年間・定員6名)

総合感染症診療コース

感染症科
感染制御部

臨床感染症
国際感染症
感染制御

渡航者医療
センター

渡航医学
予防接種

臨床検査
医学科

HIV感染症
日和見感染症

総合診療科

市中感染症
一般感染症

本コース開設にあたって

- 感染症診療は全ての診療科に係る可能性がある一方で、臨床技術だけでなく公衆衛生学的事項まで、幅広い知識を要求される診療分野でもある。
- しかし国内では、感染症診療の全てを網羅できるような系統的な研修プログラムを提供する臨床研修指定医療機関はほとんどない。
- 大学病院での臨床研修は、診療・研究・教育の全てに携わることができ、特に社会人大学院への入学による基礎的研究技術を学ぶことは、臨床医として業務を行う上でも有意義である。
- 当院は感染症診療のほぼ全てを網羅することができる専門診療科を擁しており、本コース終了までには感染症診療のいかなる分野においても、指導的立場をとることができるような人材の育成が可能である。

プログラムの概要

- 本研修プログラムは、感染症診療を総合的かつ専門的に習得するために、感染症診療に関わる院内各診療科との連携により成り立っている。
- 本研修プログラムを希望する後期臨床研修医は、各診療科における専門診療の内容により希望診療科（主科）を決定し、3年間の研修期間中にすべての選択診療科をローテイトすることを原則とする。但し希望診療科には累計1年間以上所属することとする。
- 3年間の研修期間中に、本学と姉妹校提携のあるホーチミン医科薬科大学において熱帯感染症関連の実習を1か月間行う（4月を予定・希望者のみ）。
- 希望があれば海外留学による資格（MPH, DTMH等）の取得、外部施設での研修も考慮する。
- 社会人大学院（微生物学講座・臨床検査医学講座）への入学により、基礎または臨床研究を並行して行う（または一定期間研究に従事する）ことも可能である。

プログラム内容(例)

1年次

主科
6か月

選択診療科1
3か月

選択診療科2
3か月

2年次

海外実習
1か月

選択診療科3
3か月

主科
5か月

選択診療科(任意)
3か月

3年次

海外実習
1か月

選択診療科(任意)
3か月

選択診療科(任意)
3か月

主科
5か月

到達目標

- 3年間の研修期間に、臨床感染症、国際感染症・熱帯感染症、HIV感染症・日和見感染症、市中感染症・一般感染症・医療関連感染対策等、包括的な感染症知識および診療技術を習得し、感染症専門医の取得を目指す。
- 海外での臨床研修を経験することで、グローバルな視点からの感染症診療を習得し、新興感染症の発生時にも実践的な対応ができるような国際感染症エキスパートの育成を目指す。
- 感染制御の基本的知識および実践的技術を身につけ、臨床感染症、医療関連感染症対策および管理を指導的立場で行えるような Infection Control Doctor (ICD) の育成を目指す。
- 研修終了後は希望診療科への入局も考慮される。

主な指導者

- **感染症科** 責任者：水野 泰孝 准教授（科長・感染症指導医）
中村造 助教（感染症専門医）、佐藤昭裕 助教
- **渡航者医療センター** 責任者：濱田 篤郎 教授（科長）
福島慎二 助教
- **臨床検査医学科** 責任者：福武 勝幸 主任教授（科長）
天野景裕 教授、山元泰之 臨床准教授、青木眞 客員教授
- **総合診療科** 責任者：平山 陽示 臨床教授（科長）
原田芳巳 講師
- **微生物学講座** 松本哲哉 主任教授